

# 埼玉県 小江戸川越 五月の散策

企画委員会

江戸の物流の拠点、それを背景にした豊かな文化を  
実らせた地域、それが川越です。町並みを楽しみ  
ました。サツマイモを原点とした新たな観光資源を、  
生み出していました。よく歩いた一日でした。

訪れたのは平日でしたが、インバウンドの観光客  
が、貸衣装、食べ歩き、そして人力車の三点セット  
を楽しんでいました。

ここでの昔からの特産品はサツマイモと抹茶で  
すが、それを越える観光地の感を受けました。

日時：2023年5月25日（木）日帰り

集合：東武東上線 川越駅 改札 10時30分

解散：西武線 本川越駅近く 午後3時半

入場料：なし（街なみの建物は外観鑑賞可でした）

費用：現地往復交通費（都内から概算2千円）  
食事・飲み物他 各自払

リーダー：会員A（川越高校出身、地元詳しい）

参加者：

計11名

順路：集合；東武東上線 川越駅改札→バス  
→氷川神社→新河岸川船着き場→川越城本丸御殿  
→三芳神社→川越城富士見櫓跡→川越城田曲輪門跡  
→時の鐘→川越蔵づくり町並み→昼食→菓子屋横丁  
→大正浪漫通り→小江戸蔵里→熊野神社  
→休憩本川越駅ビル→解散

昼食：蔵づくりの町並み「うんとん処春夏秋冬」  
江戸創業の笛木醤油が経営 太麺が自慢

案内：リーダーから要所で説明

散策：3時間（1万歩超）



川越城址 入口で記念撮影

## ■川越散策は3つのゾーン

この川越散策は、江戸情緒、明治情緒、そして大  
正情緒が少しずつそれぞれがそこはかたなく残ると  
いうことで人気で、今回の散策でもなるほど感じ  
ました。見どころが市街地にきゅっと詰まっ  
ていて、気楽な散策には絶好でした。



現地観光案内所が提供している案内書では、本丸御殿ゾーン、蔵造りゾーン、喜多院ゾーンに分けて説明がありました。今回は、本丸ゾーンと蔵造りゾーンを散策して巡りました。見どころ満載でした。

## ■川越駅 東武東上線 天井のデザインに注目

都心から約1時間、きれいな駅舎でした。天井画がありオシャレで、乗降客もオシャレでした。



## ■川越氷川神社 バスで氷川神社前下車

川越駅前からバスで移動しました。小江戸川越の周囲の北～東～西を新河岸川が囲んでいます。川越の北西に鎮座在しますのが氷川神社です。太田道真・道灌父子により川越城が築城され、以来藩領の総鎮守として崇敬されていたそうです。

家庭円満の神様、夫婦円満・縁結びの神様として信仰を集めているそうです。赤ちゃん誕生の初参りのご夫婦の姿がありました。絵馬のトンネルがオシャレでした。



### ■川越城 本丸御殿

川越城本丸御殿は、1848（嘉永元）年に造営されたお城の一部です。「本丸御殿」は、藩主の住居や藩の政庁などのための建物です。

江戸時代以前の本丸御殿は、川越城と高知城にしか現存しないそうです。造営時からの歴史遺構です。なかなか壮大な造りでした。人の姿と比べると、その大きさがわかります。



### ■川越城富士見櫓跡

天守閣の役割をした富士見櫓は、明治維新後に取り壊され、今は跡のみです。小山の木々が鬱蒼としていて、ここに櫓があったそうです。

石柱の文字が、ここに刻んだ歴史を想いださせるようですが、周りにその痕跡もなくなんとも寂しいものでした。



### ■番外 富士見櫓の階段に挑戦する幼児たち

近隣の幼稚園の遠足に出会いました。この富士見櫓に上る急な階段に一步一步上っていきました。下肢の長さや階段の一段の高さを比べれば、その難儀さが伝わります。園の先生も一苦労・・・



### ■三芳野神社 お城の天神さま

平安時代の創建で、お城の天神さまとして信仰され、細道を通る参拝です。わらべ歌「通りゃんせ」発祥の地ともいわれています。



### ■番外 川越高校 男子校

川越の地元高校は、ずばり川高（かわこう）です。本日のリーダ浅見さんの出身校です。以前、TVで話題になった男子シンクロナイズドスイミング“ウォーターボーイズ”の発祥校でもあり、なんとノーベル賞の梶田隆章氏も、ここ出身だそうです。



### ■時の鐘 1600年代の鐘楼

蔵造りの町並みの中に高くそびえていました。現在の鐘楼は、1893（明治26）年の大火の翌年に再建されたものです。高さが16mあり、3層構造になっています。

時の鐘は、薬師神社の鐘楼でその足元から本殿への参道が通じていました。



### ■蔵造りの町並み 土蔵造りが多い

伝統的な蔵造りの建物が立ち並ぶ通りで、川越一番街ともいわれています。江戸時代から、火事の類焼を防ぐため、耐火性の高い“土蔵造り”が採用されていました。黒くて厚い壁、大きな鬼瓦と高い棟、醸し出す風格が特徴です。

町並みは洋風建築、和風住宅、寺社、「時の鐘」などがモザイク状にあり、博物館様でした。



### ■昼食 うんとん処春夏秋冬

川越一番街の中ほどにあり、もとは笛木醤油です。ここの醤油の味わいを生かした「かき揚げつけ麺」の汁は絶品でした。麺は太麺、そしてかき揚げには川越名物のさつまいもが入っていました。



■菓子屋横丁 駄菓子屋が軒を連ねる  
 醤油のせんべい、焼きだんご、飴菓子、麩菓子などのお菓子屋さんの通りでした。  
 わかりやすい商品なので、インバウンドの観光客にも人気でした。



■大正浪漫夢通り 1920年代風の遊歩道  
 大正時代から昭和初期のレトロな雰囲気にあふれた商店街です。御影石の石畳の通りに、日用品からこだわりの逸品、川越観光のお土産店など、個性豊かなお店が軒を連ねています。通り全体が写真映えスポットでした。



■熊野神社 銭洗弁財天がありました  
 川越散策の締めはここでした。熊野神社に開運を祈り、銭洗弁財に財運のご利益をあやかれるようにと・・・  
 参道の両側に、「足つぼ」を刺激して健康を呼ぶ50cm幅の石の凸凹道もありました。



■コーヒータイム 本川越駅ビル  
 熊野神社で約1万歩、散策の満足感も一杯、でも足は休憩を叫んでいました。本川越駅ビルで、腰かけてコーヒーを賞味し、本日の情報交換と反省会をしました。またの新たな散策を期待して・・・



■方向案内 ぎっしり柱に並ぶ 市役所近く  
 川越の観光協会が、親切な方向案内を要所要所に設置してありました。安心散策ができました。



■マンホールの蓋 大正浪漫夢通り  
 消火栓の蓋で、黄色の枠で囲いいざというときにすぐわかるようにしてありました。



懐かしい場所 川越松江町  
 参加できなくて残念

(静岡県静岡市)  
 ちょうど61年前、私がインターン生で世田谷国立病院(旧陸軍病院、その後国立小児病院)に1年間勤務していた時のことです。川越市松江町の耳鼻咽喉科に住み込みで、夜間バイトをしていて毎日東上線川越駅から池袋乗り換えで、渋谷まで電車通勤していました。

松江町の医院から近くに、喜多院や時の鐘があったことは覚えております。当時は歴史探訪などはせず、ひたすら電車とバス(渋谷～太子堂間)で通勤して懸命に働いていました。その後、由緒ある小江戸川越と知り静岡からバス旅行で一度訪れたことがありました。街並みが変わりバイトをしていた医院も他の診療科に代替わりしていました。

時の鐘は昔も今も同じに鐘を鳴らしますが、町並みは移り過ぎてゆくようです。